



- 1 嘉納治五郎
- 2 プラトンとアリストテレス
- 3 身体の声、細胞の声
- 4 人間の体
- 5 先人の足跡
- 6 陸上競技場
- 7 池
- 8 武蔵野の雑木林

※2~5 身体と精神の関わりを象徴する意匠



池



野球場のしだれ桜

自然の道

10

イチョウ並木およびその延長を含んで、主として北に展開する散策路を、自然の道と名づけた。ここには、キャンパス東端の池、陸上競技場・サッカー場の外周の道、春には桜が美しい野球場周辺の土手、三昧堂周辺の雑木林などが含まれている。武蔵野の昔の姿をしのばせる木々の中には、23区内では珍しくなったものもある。ところどころに、湧水も枯れずに残っている。新たに設置された照明には、身体と精神の関わりを象徴する意匠などが描かれている。